

特別展

走泥社再考

令和6年2月27日(四) - 4月7日(日)

岡山県立美術館 9時-17時(月曜休館)

※2月27日(四)は10時開場。

※3月30日(土)は19時まで開館(入館は閉館30分前まで)

上記の通り特別
展を開催致します。
御清観を
待ち致して居
ります。

The Sodeisha Group:
An Era Born Out of Avant-garde Ceramics

前衛陶芸が生まれた時代

主催：岡山県立美術館、山陽新聞社

八木一夫
《ザムザ氏の散歩》
1954年
京都国立近代美術館

1948(昭和23)年、京都において八木一夫、叶哲夫、山田光、松井美介、鈴木治の5人の陶芸家によって結成された走泥社は、50年の長きにわたり活動してきました。本展は、日本の陶芸界を牽引し、日本の前衛陶芸が確立していくうえで中心的な役割を果たした走泥社の活動に焦点を当て、その意義や意味を再検証するものです。走泥社の活動期間を見渡した時、その重要性は特に前半期にあることから、本展では、走泥社結成25年となる1973年までを対象とし、走泥社と同時期に前衛陶芸運動を展開した四耕会や日本陶芸界に多大な影響を与えたピカソやイサム・ノグチの作品、1964年の現代国際陶芸展出品作との比較も交えて、約180点の作品と多数の資料類により、前衛陶芸が生まれた時代を振り返ります。



1



2



3



4



5



6



7



8



9

1. 鈴木治《馬》1971年 京都国立近代美術館
2. 八木一夫《二口壺》1950年 京都国立近代美術館
3. 辻晋堂《東山にて》1962年 個人蔵
4. 三輪龍作《LOVE》1969年 高松市美術館
5. 鈴木治《白釉黒絵ビエロ文広口瓶》1949年 華道家元池坊総務所
6. 林康夫《作品51-2》1951年 和歌山県立近代美術館
7. 山田光《二つの塔》1959年 和歌山県立近代美術館
8. 岡本素六《花器》1950年前後 滋賀県立陶芸の森陶芸館
9. 熊倉順吉《凝固する炎》1956年 国立工芸館

【観覧料】

前売り1,200円、当日一般1,500円(1,200円)、65歳以上*1,300円(1,000円)、大学生*1,000円(800円)、高校生以下無料 ※()は20名以上の団体 ※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料 ※学生証やシルバーカード等、年齢がわかる証明書をご持参ください。

本展観覧券で岡山の美術展(2階展示室にて同時開催)もご覧いただけます。

【前売券販売所】

セブンチケット(セブンコード:103-884)、チケットぴあ(Pコード:994-571)、ローソンチケット(Lコード:63190)、イープラス、山陽新聞社サービスセンターほか

【関連イベント】

日時:3月20日(水・祝)14:00~15:30
会場:美術館ホール
講師:大長智広氏(京都国立近代美術館主任研究員)
定員:200名(当日先着順・要観覧券)

協賛花展

備前焼の重要無形文化財保持者・伊勢崎淳氏のの前衛作品と県内華道流派のコラボレーション作品を展示します。
場所:1Fエントランス

【音声ガイド】貸出料金600円

作家の意図や前衛陶芸が生まれた社会背景まで、声優・梅原裕一郎さんがご案内します。



後援:公益社団法人岡山県文化連盟、岡山県郷土文化財団、一般財団法人岡山県国際交流協会
協賛:スマートドライバースクール備前校 特別協力:国立工芸館 企画協力:京都新聞

【交通案内】

JR岡山駅後楽園口(東口)から
徒歩:約15分
路面電車:東山行「城下」下車 徒歩3分
岡電バス:藤原団地行「美術館前」下車すぐ
宇野バス:四御神/瀬戸駅/片上方面行「表町入口」下車 徒歩3分
循環バスめぐりん:益野線「表町入口」下車 徒歩3分
※ご来館の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。



走泥社再考
前衛陶芸が生まれた時代
【公式】



〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL 086-225-4800 FAX 086-224-0648
https://okayama-kenbi.info

